

あきる野市立小・中学校
統合型校務支援システム構築等事業

審査要領

令和2年10月
あきる野市教育委員会

あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業
審査要領

1 目的

この要領は、あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）が、公募型プロポーザル方式により「あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業」における受託候補者を特定するため、必要な審査方法及び審査基準を定めるものである。

2 審査の実施

審査は、委員会が行う。

3 審査の対象事業者

審査の対象事業者は、次の（１）から（４）までに掲げる条件を全て満たし、一つでも満たない場合は、審査の対象事業者に該当しないものとする。

- （１）あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業プロポーザル実施要領に基づく参加資格を有すること。
- （２）提出書類が所定の形式に適合していること。
- （３）期限までに提出すること。
- （４）提出書類に虚偽の記載がないこと。

4 審査の項目・配点

項目及び配点は、以下の表のとおりとする。

審査項目	配点
（１）システム機能要件表による審査	200点
（２）提案システムの概要	20点
（３）システムの機能及び機器構成	210点
（４）セキュリティ及びデータの取扱い	60点
（５）実施体制及び運用・保守	110点
（６）その他	40点
（７）維持管理経費	10点
（８）構築経費	50点
合計	700点

5 受託候補者の選定

- （１）選定方法

委員会は、前記4の合計点で最高得点を挙げた事業者を、あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業の受託候補者として選定する。同得点の場合は、構築経費の低い方を上位とし、構築経費も同額の場合はくじ引きとする。なお、出席した審査委員で算定する合計の満点の5分の3を最低基準とし、全ての参加事業者の点数が最低基準に満たない場合は、再度公募を実施する。

(2) 辞退等による繰上げ

上位の事業者が辞退し、又は失格となったときは、次点の事業者の順位を繰り上げるものとする。

6 審査方法

(1) システム機能要件表による評価

応募事業者から提出されたシステム機能要件表は、次の「算出方法」に定めるところにより事務局が審査点を計算し、審査委員に提出する。審査委員は、各事業者の審査点を確認し、システム機能要件表に基づく評価点として承認する。代替案により実現可能とした場合は、その代替案を必ず明記するものとする。この記載がない場合又は代機能とならないと委員会が判断した場合は、再提出を求めるものとする。

機能項目	表示	配点
標準対応	◎	10
カスタマイズ対応	○	10
代替案で対応	△	4
対応できない	×	0

表1 校務支援システム機能区分の配点表

満点	配点
2350	200

<算出方法>

- ア システム機能要件表に対して、上記「表1」の配点に基づき各項目の点数を算出する。
- イ 前記アで算出した点数を満点で割り、得点取得割合を算出する(小数点以下第4位を四捨五入し、第3位までを算出)。
- ウ 前記イで算出した得点取得割合に配点を掛けて得た得点をシステム機能要件表の評価点とする(少数点以下が生じる場合は、第2位を四捨五入して算出)。

[例] 得点算出方法

- ア 表1に基づく得点が1854点の場合
- イ 得点取得割合は、
 $1854 \div 2350 = 0.7889$ 少数点以下第4位を四捨五入 $\rightarrow 0.789$
- ウ 機能要件回答書の評価点は、 $200 \times 0.789 = 157.8$

(2) 企画提案、業務遂行能力等による評価

- ア 各審査委員は、プレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、審査を行う。
- イ 評価対象は、企画提案書、参考見積書、プレゼンテーション及びヒアリングとする。
- ウ 審査項目及び配点は、「4 審査の項目・配点」の(2)から(7)までに定めるとおりとする(詳細は、別紙「審査基準詳細」のとおり)。

あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業 審査基準詳細

評価項目		評価内容	評価観点	配点					
				評価基準	係数	細項目	大項目		
ア	提案システムの概要	システム構築のコンセプト	設計コンセプト、他社製品に対する強み	提案するパッケージ製品について、共感するかを基準として評価する。	極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1	1	5	20
		導入実績	・本件を受注するに当たり、提案するパッケージ製品が十分な実績・経験を有しているか。 ・本件の導入事業者は提案するパッケージ製品の導入・構築の十分な実績を有しているか。	極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1	1			
		制度改正への対応	制度改正	制度改正により学習指導要領や関連する法律の改訂が生じた場合、システム及び帳票の対応に係るコストはどうか。	極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る		5 4 3 2 1	2	
イ	システムの機能及び機器構成	各種機能提案	学籍・学級管理 (学籍管理、学級編制、名簿、転出入、進学)	企画提案書を元に機能確認を行い、審査当日のシステムデモにおいて、操作性や様式出力の容易さ等を確認し、機能の完成度を基準として評価する。 ・画面構成やメニュー配置等は、統一されているか。 ・PC操作に不慣れな教職員でも、目的の機能がすぐに分かるような工夫や配慮があるか。 ・画面遷移において余計な(無駄な)画面がなく、目的の操作にスムーズにたどり着き、完了できるか。 ・システムで行うメリットを感じさせるワンクリック入力機能やデータ連携機能、作業効率を上げる配慮や工夫などがあるか。 ・校務効率化による教職員の時間短縮に加えて、システム内に蓄積された様々なデータを活用して本市の子どもたちの9年間の成長を支援するような提案になっているか。	極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1	6		30
			出欠・成績 (出席簿、成績処理、通知表、指導要録、調査書、日常所見)		極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1		10	
			保健・体力テスト (健康診断、保健室来室、保健日誌、体力テスト)		極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1	6		30
			その他校務機能 (時間割、週案・時数管理、学校日誌)		極めて優れている 優れている 普通 やや劣る 劣る	5 4 3 2 1		6	

あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業 審査基準詳細

評価項目		評価内容	評価観点	配点				
				評価基準	係数	細項目	大項目	
イ	システムの機能及び機器構成	帳票類の対応可否	帳票の加工・修正への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表などを所定の様式に合わせて加工・修正することが容易に可能か。 ・システムから出力された帳票(名簿や通知表など)は、使い慣れた操作感かつ、学校裁量で加工・修正が容易に行えるか。 ・レイアウト変更に加えて費用が発生するか。 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	6	30	70
		外字の取扱いや提供の仕組み等	外字運用	<ul style="list-style-type: none"> ・システムで利用する外字が市内共通で提供され、各書類の作成に利用できる提案がされているか。 ・不足外字が発生した場合に対応できる提案がされているか。 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	4	20	
		必須機器構成	機器の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期など、全教員(約400人)の同時アクセスでも遅延なく処理できる性能・スペックを有しているか。 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	4	20	
ウ	セキュリティ及びデータの取扱い	提案システムにおいてのセキュリティに配慮した仕組みや機能	秘匿性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアクセス制御に関する機能として、ID・PWでのログイン、パスワードポリシー、役職ごとの権限設定による利用制限があるか。 ・急な離席時やログアウトを忘れてシステムを放置した場合などに、一定時間で自動的にログアウト(タイムアウト)する仕組みがあるか。 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	4	20	60
			完全性	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票類の「原本性」「真正性」を担保し、改ざんを防止する性能に関する詳細な記載があるか。(公簿は保護の掛かったPDF等での帳票のコピー・編集不可など) ・システムに登録された情報の誤編集や意図せぬ上書き等を防止する仕組みについての記載があるか。(入力時の補助機能、誤登録時のエラー表示、編集後のロック機能等) 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	4	20	
		操作ログ	調査時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一のトラブル時に、ログ解析等によって詳細かつ早期の調査が可能な仕組みや機能の記載があるか。 ・成績や学籍に関する捜査に関しては、「いつ・誰が・どの児童生徒の成績情報を更新したか」まで詳細なログ解析が可能か。 	極めて優れている 5 優れている 4 普通 3 やや劣る 2 劣る 1	4	20	

あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業 審査基準詳細

評価項目		評価内容	評価観点	配点			
				評価基準	係数	細項目	大項目
エ	導入作業	導入スケジュール	システム導入の期間が短い中、導入スケジュールが無理なく設定されており、明確性や妥当性を基準に評価する。特に、導入・運用開始時期、検討の進め方に着目すること。	極めて優れている	4	20	110
				優れている			
			普通				
			やや劣る				
			劣る				
		研修計画・研修内容	操作研修における、グループ分けや回数を含め、安心して運用が開始できそうか、妥当性、サポート性を基準に評価する。	極めて優れている	6	30	
				優れている			
				普通			
			やや劣る				
			劣る				
運用・保守	ヘルプデスクの対応	<ul style="list-style-type: none"> 安心して運用が継続できそうか、妥当性、サポート性を基準に評価する。 総合受付窓口となるヘルプデスクが提案されている。 	極めて優れている	4	20		
						優れている	
						普通	
						やや劣る	
	システムトラブル発生時のサポート		極めて優れている			4	20
			優れている				
			普通				
			やや劣る				
			劣る				
	システムメンテナンス		極めて優れている	2	10		
			優れている				
			普通				
			やや劣る				
			劣る				
	バックアップ手法	バックアップ手法について、フル・差分バックアップの取得、バックアップからのリカバリ方法や妥当性を基準に評価する。	極めて優れている	2	10		
			優れている				
			普通				
			やや劣る				
			劣る				

あきる野市立小・中学校統合型校務支援システム構築等事業 審査基準詳細

評価項目		評価内容	評価観点	配点				
				評価基準	係数	細項目	大項目	
オ	その他	追加提案等	仕様外の追加提案等について、本市にとって必要性や有用性の高い魅力的な内容と感じられたか。	極めて優れている	6	30	40	
				優れている				
普通								
やや劣る								
劣る								
極めて優れている	2	10	遠隔地からの本システム利用について、安心して運用が継続できそうか、妥当性、セキュリティを基準に評価する。					
優れている								
普通								
やや劣る								
劣る								
劣る								
カ	維持管理経費	運用管理保守に係る提案額について、提案者のうち、最も低い価格を提示した者を満点として評価する。	$10点 \times \frac{\text{提案者のうちの最低見積金額(5年間利用の提案額)}}{\text{提案者の見積金額(5年間利用の提案額)}}$				10	10
キ	構築経費	導入に係る見積額について、提案者のうち、最も低い価格を提示した者を満点として評価する。	$50点 \times \frac{\text{提案者のうちの最低見積金額}}{\text{提案者の見積金額}}$				50	50
合計							500	

受託候補者の決定方法

①システム機能要件表による審査及びプロポーザル審査(プレゼンテーション、ヒアリング)の合計得点の最も高い者を受託候補者とする。

②同点の場合は、構築経費の低い事業者を受託候補者とする。

※プロポーザル参加者が1者のみで適格者がいない場合は、受託候補者を特定しないときがある。